

とよま路 心地よく 駆け抜ける

今年で27回目を迎える
カップハーフマラソン大会が
11月25日に登米町と中田町を通る
日本陸上競技連盟の公認コースで
開催されました。
大会には、30種目に過去最多となる
2481人が参加。
澄んだ初冬の空気の中、
登米総合体育館を発着に
ランナーたちが健脚を競いました。

(17ページ)



親子ペアの種目。マラソンを通じて親子の絆を再確認。笑顔の走りが印象的でした

石越

東京いしこし会総会・交流会



▲会員の皆さんによる歌と尺八の演奏が披露されました

ふるさとに思いを寄せて

「第19回東京いしこし会総会・交流会」が11月17日、東京都内の東天紅上野店で開催され、在京の石越町出身者やその関係者69名が参加しました。
交流会では、会員がお互いの近況や石越町に在住していた頃の懐かしい思い出話などを語り合い、ふるさとに思いを寄せていました。
アトラクションでは、石越民謡同好会の方々による地元の民謡「さんさしぐれ」などが披露され、会員の皆さんも歌や尺八の演奏でステージを賑わせました。会場は、ふるさとに帰ってきたような雰囲気で大いに盛り上がっていました。

青少年を地域で育てよう

青少年健全育成南方のつどい

南方

青少年のための登米市民会議南方支部による「第18回青少年健全育成南方のつどい」が11月24日、南方農村環境改善センターで開催され、子どもから大人まで多くの人々が参加しました。
町内の小・中学生による体験発表の後、体操競技オリンピックメダリストの池谷幸雄さんによる講演が行われ、オリンピックを目指したきっかけなど夢に向かって努力することの大切さについて語りました。また、演台の上での倒立パフォーマンスや本物のメダルを首に下げた記念撮影など、楽しい講演会となりました。



▲「夢は果てしなく永遠に」と題して講演した池谷幸雄さん

津山

第33回ふるさと津山会総会

は 津山に思いを馳せる



▲参加者みんなで「ふるさと」を合唱

「第33回ふるさと津山会総会」が11月25日、仙台市内のホテルJALシティ仙台で開催されました。同会は、仙台市及びその近郊に居住する津山町出身者で構成され、郷土の近況報告や親睦を図るため、年に一度、総会を開催しています。
当日は、会員のほか市議会議員など約30人が出席。会計報告や役員改選の後、懇談会が行われ、カラオケや抽選会などさまざまな余興が催されました。参加者たちは、懐かしい津山町の思い出話に花を咲かせたり、互いの近況を語り合ったりするなどして、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めていました。